

第25回トピカル切手展

トピカル切手展は、郵便切手類に描かれた図案をもとに分類する作品展で、郵便切手文化の楽しみを多くの方々へ広げていくための展覧会です。トピカルとは英語のトピックを意味しており、作品で取り扱う「もの」や「こと」の概念を表しています。

【審査について】

トピカル切手展は、1つのトピックに沿って郵便切手類をその図案をもとに論理的に分類したコレクションと定義します。郵便切手類には、郵便切手のほか郵便切手が貼られた郵便物、消印、郵便葉書などのステーションナリー、郵便切手の発行準備段階の資料などが含まれます。

審査員会は、公益財団法人日本郵趣協会公認審査員により構成されます。

(1)審査の評価項目と配点

作品の構成	タイトルリーフ	10点
	論理的な分類	20点
	収集の網羅性	10点
知 識	トピックに関する知識	10点
	郵趣知識	15点
状態と希少性	状態	10点
	希少性	15点
展示物の美観		10点
合 計		100点

(2)総得点と賞

100～85点	金 賞	59～55点	銅 賞
84～75点	金銀賞	54～50点	佳 作
74～65点	銀 賞	49点以下	選 外
64～60点	銀銅賞		

(3)特別賞

優れた応募作品には特別賞を授与します。

今回授与される特別賞 … 日本郵便株式会社、(株)日本郵趣出版、日本フィラテリックセンター

(4)審査員会 ※(公財)日本郵趣協会 公認審査員で構成

審査員長：虎頭雄彦

審査員：榎沢祐一、嘉ノ海暁子

【表彰式のご案内】

日時：4月28日(日) 11:00～12:00

会場：STAMP-SHOW2024会場6階 イベントスペース

【展示作品】

※展示作品の紹介は作品番号、フレーム番号、作品タイトル、氏名、日本郵趣協会会員番号(会員のみのみ)、都道府県、作品解説の順になっています。

T01(01-03) 【銀賞】

アジアの蝶・昆虫切手

宝田 嘉久雄 (S-6093・千葉)

アジア地域の気候は、冷帯から温帯、亜熱帯・熱帯など様々で、蝶の切手も多彩な種類が各国から発行され、そのお国柄を示しているとも思われます。今回アジアの蝶を中心とした昆虫類を国地域別に分けてご紹介します。

T02(04-08) 【銀賞・特別賞(提供：日本フィラテリックセンター)】

コウモリ

藤田 総八 (P-106456・静岡)

コウモリ類は世界の哺乳類で980種があり、分類は大きく大翼手亜目と小翼手亜目に分かれています。そのコウモリを順に紹介していきます。

T03(09-11) 【金銀賞・特別賞(提供：株式会社日本郵趣出版)】

乾燥地に生きる植物－多肉植物を主として－

大畑 紀子 (M-72・静岡)

砂漠やステップ地帯など、水の乏しい地で生きる植物の生き残り戦術を探った。その中でも、形態が独特で、人目を引く多肉植物をとりあげ、アメリカ大陸とサボテン、アフリカ大陸とアロエというように、地域に分けて紹介した。

T04(12-14) 【銀賞】

中国・韓国の美術

高塚 純一 (S-8526・静岡)

中国は新石器文化、兵馬俑、漢画像石、唐の時代の仏教文化と唐三彩、宋の時代については陶磁器についてまとめた。明、清については絵画も含めた。韓国については仏教文化、絵画、焼物でまとめた。

T05(15-17) 【金銀賞・特別賞(提供：日本郵便株式会社)】

密教の仏たち

木村 光一 (S-6073・愛知)

密教は、一般の仏教(顕教)と同様、インドに起こり、アジア各地に広まった。本作品は、日本の密教や、モンゴル・ブータン等のチベット密教を中心に、広く「密教仏」で括ることができる仏たちを概観する。

T06(18-20) 【銀賞】

形式別に見る橋の歴史と文化

西野 昭夫 (S-194737・東京)

橋の歴史を振り返り、2000年前に作られた水道橋から最初の斜張橋までを、形式別に分類して紹介します。また、絵に描かれた、長年親しまれた橋の文化の側面、橋王国・日本の歩みを考察するものです。

T07(21-22) 【銅賞】

日本ふるさとの名滝

関 好男 (S-5946・神奈川)

日本は山の国であり、山岳は急峻である。山から急激に流れ下る水の流れは、日本各地に美しい谷を作り、「滝」をつくった。ふるさと自慢の名滝を描いた切手や風景印、絵入葉書、ふみカード等を探してみた。

T08(23-24) 【銅賞】

ふるさと北海道

矢崎 邦夫 (S-8817・東京)

ふるさと切手はその地方を表す内容で発行されています。展示は、一部の特殊切手、普通切手を含んでおります。これらを観光・動物・植物・自然・鳥に分類しました。また、実郵便は道内局を主にまとめました。

T09(25-26) 【銀賞】

日本の昔話

豊田 邦子 (P-194807・埼玉)

日本に伝わる昔話を、①主な伝承方法と、②様々な昔話の二つの観点から、切手や風景印などの郵趣品によってたどります。定番「昔ばなしシリーズ」のほかにも、いろいろな昔話に出会えるでしょう。

T10(27-30) 【銅賞】

世界の絵本

津田 珠美 (兵庫)

切手は幸せを運ぶ。切手のデザインとなった世界の絵本の切手を収集し、絵本の紹介と共に、切手の魅力を示しました。

T11(31-34) 【佳作】

伝統的工芸品シリーズ切手

行徳 国宏 (S-173291・埼玉)

昭和50～60年は消印の種類が10種ほど、郵便の種類が豊富な郵便・郵趣史上初めての時代で、その特徴は記念シリーズ切手でも展示できる。製造面の特徴はないが、身近でダイバーシティ豊かな収集が楽しめる分野です。

T12(35-39) 【佳作】

100の歴史を刻む ～さらに、150年の時代へ～

中尾 英雄 (S-4159・千葉)

近年の切手や葉書では、歴史の節目となる「100年」という区切りの年が、あらゆる分野で数多く刻まれるようになった。この明治以降の歴史の転換期に、社会の重要なポイントを再確認してみたい。